

日本のモノづくりの発展を担う 葛飾区産業

中小の人材確保・定着を支援

東京都の北東に位置する葛飾区は、金属プレス、プラスチック製品、機械部品、工業用ゴム、皮革、玩具など多様な業種を手がける小規模の町工場が数多く集積する。区内企業は優れた技術力を生かした自社製品製造や、大学などと連携した研究開発に取り組むことで、モノづくりを取り巻く環境の変化に対応している。



葛飾区長 青木 克徳氏

「昨年度から実施しているデジタル化支援事業補助金の進捗はいかがですか。」
「今や効率的な企業運営のためデジタル化、AI（人工知能）活用は不可欠といえる。ただ、中小企業の中には前向きに取り組んでいる企業もあれば、そうでない企業もある。どこから手を付けばいいかわからない企業について、は区として相談に乗りながら支援している。すでに売り上げに結び付かないケースも少なくないため、地道な取り組みを継続していくことが必要だ。例えば、これまで『エクスセル』などの表計算ソフトウェアで行っていた在庫管理を専用のシステムでの運用に変えるなど、比較的取り組みやすい部分から少しずつ進めていくことがカギになる」
「人材確保の支援にも取り組んでいる。狙いを定めて組んでいきます。狙いを定めて組んでいきます。狙いを定めて組んでいきます。」

デジタル化支援 地道に継続

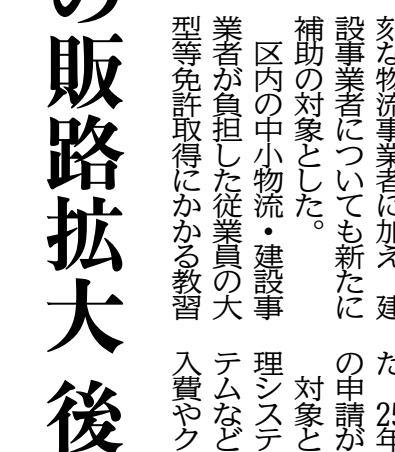
産業人材育成支援など補助金充実



葛飾区は区内中小企業において全ての従業員が働きやすい職場環境を整備を後押しすることで、人材の確保・定着を支援している。
「人材確保・人材定着支援事業費助成金」では、従業員用のトイレやロッカー室、休憩スペースのほか、女性もしくは男性専用施設やバリアフリー対応施設の建設、改修にかかる工事・設計費を助成する。また、暑熱・寒冷対策として使用されるポットクーラーやストーブといった備品、フアン付き作業服やヒーター付き作業服などの消耗品の購入費も対象となる。なお、備品は設置工事を要する固定式のものを除く。消耗品については、助成は暑熱対策・寒冷対策ごとに1日あたり常時従事する従業員数が上限となる。

区内中小製造業の販路拡大後押し

同助成金は葛飾区内の事業所、営業所、支店、工場または店舗において工事等を実施する場合に対象で、補助率は2分の1、補助限度額は250万円。「フリーク・ライフ・バランス推進企業」の認定を受けた企業は300万円を上限とする。申請回数は、工事・設計費が1年度につき1回まで、備品購入費が6年度につき1回まで、消耗品購入費が3年度につき1回まで。2025年4月以降に購入・着工し、26年3月までに支払いが完了する事業の経費が対象だ。
人材育成では、大型等免許取得費の補助や大型等免許の有資格者が入社した際の手当に対する補助などを行う「産業人材育成支援補助事業」を実施している。本年度からは人手不足が深刻な物流事業者に加え、建設事業者についても新たに補助の対象とした。
区内の中小物流・建設事業者が負担した従業員の大型等免許取得にかかる教育入費やクラウドサービス等の経費が対象だ。
区内の中小モノづくり企業は、24年度は34件を承認し、25年度もこれまで46件の申請があった。
対象となるのは、勤怠管理システムや在庫管理システムなどのソフトウェア購入費やクラウドサービス等の経費が対象だ。
区内の中小モノづくり企業は、24年度は34件を承認し、25年度もこれまで46件の申請があった。
対象となるのは、勤怠管理システムや在庫管理システムなどのソフトウェア購入費やクラウドサービス等の経費が対象だ。



町工場見本市セミナーを実施

「町工場見本市」 後継者問題に焦点

「葛飾ブランド」「葛飾町工場物語」の認定企業数が本年度、新たに5件増えました。
「優れた技術を持った区内企業を積極的に発信していく」ということで2007年度に始まった認定制度だ。製品の良さと技術力を広く知ってもらうことで、新たな仕事につながるきっかけになる。現在の認定企業数は100件を超えている。
「認定企業がプロモーション手法を習得するための支援も本年度から始めた。優れた製品や技術を持ついてもそのPR方法が分からない企業が多い。製品の購入や問い合わせ先に誘導するウェブページの制作やSNSの活用など、個々の企業のPR力向上を支援している。認定企業の販路拡大と販路促進につなげることで、葛飾ブランド全体の認知度も向上させていきたい」
「葛飾区の産業の課題は、やはり企業経営者の高齢化だ。後継者問題や事業承継といった部分については区としても10年ほど前からさまざまな取り組みを行ってきた。また、区内企業の優れた技術が引き継がれていくことが大切だ。中小企業の場合、一つの製品を複数社で共同して作っているケースが多く、各社が重要な役割を担っている。仮にそのうちの1社が廃業してしまうと、製品として納められず、代替先の企業を見つけるのは容易ではない」
12月19、20日に東京国際フォーラム（東京都千代田区）で行う展示会「町工場見本市」では、後継者問題をテーマにした企画を力を入れたい。

勇気ある経営大賞 応募受付中！

東京商工会議所

東京商工会議所が運営する「勇気ある経営大賞」は、過去に拘泥することなく、高い障壁に挑戦し、理想の追求を行うなど、「**勇気ある挑戦**」をしている中小企業・スタートアップを顕彰する制度です。

総合部門の大賞受賞企業には賞金200万円を贈呈
〔他、各賞も充実しており、受賞企業には各種メディアでの紹介や展示会への出展など受賞メリットが多数あります！〕

募集締切：2026年2月20日（金）23:59

応募要領・詳細はこちら

プロトタイプングによる具現化プロセス

相談できる、創造できる、製造できる。

具現化工場

● 形状・構造を可視化
● 具現化して試作

アイデア・構想

● 課題・要望の整理
● 使用シーンの想定

量産・組立・梱包

● 実使用を想定した評価
● 自社工場での量産安定供給

ODM／OEMによる製品化プロセス

製品設計・金型設計・製品量産・組立アッセンブリー・包装設計・包装まで一貫体制

射出成形・ブロー成形・真空成形・樹脂切削・精密金属部品MC/NC加工

グループに加わりました

日東ユメックス
精密部品加工・機器組立

精密切削加工 5輪加工機 15台
を含むMC76台 NC10台

- アルミ ●ダイキャスト ●真鍮 ●鉄 ●難削材 ●フッ素樹脂その他樹脂切削

ラヤマ・パック

所在地 124-0013 東京都葛飾区東立石1-7-5

TEL 03-3695-6011

info@rayama.co.jp

2026年 町工場見本市

第12回 中小にしかできない「技術」がある ―モノづくりの見本市―

入場無料

会場 東京国際フォーラム ホールE1

会期 2026年2月19日（木）～20日（金）
午前10時～午後5時
※19日（木）のみ午後4時30分まで

出展企業
機械・電機 金属加工 ゴム プラスチック ガラス 皮革 紙・印刷 繊維 めっき その他

公式サイト <https://machikouba.jp/>

主催／葛飾区・東京商工会議所葛飾支部
問い合わせ先／町工場見本市運営事務局
〒100-8079 東京都千代田区大手町1-7-2 産経新聞社事業本部内
TEL:03-3273-6041 FAX:03-3241-4999 E-mail:machikouba@sankai.co.jp

中小企業の技術を集結

町工場見本市開催

東京・葛飾区

KATSUSHIKA
町工場物語
葛飾ブランド2025

未来を照らす技

第19回 葛飾町工場物語認定品ストーリーマンガ

葛飾区は区内製造業の優れた製品、技術を分けて紹介する「葛飾町工場物語」シリーズとして認定された製品、部品、部品の一部は町工場物語の表紙に掲載される。

「葛飾町工場物語」

優れた製品・技術を認定 ストーリー漫画で発信



知的なトレーニング装置の試作機「WING PROTO2」

葛飾区は産学公連携を進めてきた。区内にキャンパスがある東京理科大学とカインズ、ヤマパツク、ミヨシ、SOLENEXの区内4社とともに知的なトレーニング装置の試作機「WING PROTO2」を開発した。今後は一人ひとりの運動能力や体調にに応じ、モーターを制御して荷重を調整し、従来のトレーニングマシンのように金属製ウェイトを付替えて荷重を調整する必要がなくなるように開発を進める。

使用者個々に最適運動を提案

2025年7月には、知的なトレーニング装置の実現が期待される。一般人にたいしても、個人の体力・筋力に応じた効果的な運動が実施できるようにする予定だ。

「WING PROTO2」は東京理科大学工学部の橋本卓弥准教授（橋本研究室）が開発中の知的なトレーニング装置の研究結果を社会に普及させるべく、23年には「WING PROTO2」を発表し、その後、動作改良に加えソフトウェアによる荷重設定やトレーニング記録を可能にするなど大幅に進化させている。

東京理科大と区内4社が開発

知的なトレーニング装置の試作機

葛飾区、東京理科大学、カインズ、ヤマパツク、ミヨシ、SOLENEXの区内4社が開発した「WING PROTO2」は、知的なトレーニング装置の実現が期待される。一般人にたいしても、個人の体力・筋力に応じた効果的な運動が実施できるようにする予定だ。

第12回町工場見本市



東京ビッグサイトで開いた前回の町工場見本市

葛飾区、東京理科大学、カインズ、ヤマパツク、ミヨシ、SOLENEXの区内4社が開発した「WING PROTO2」は、知的なトレーニング装置の実現が期待される。一般人にたいしても、個人の体力・筋力に応じた効果的な運動が実施できるようにする予定だ。

「アトツギ甲子園」出場経験ある後継者 大集合

19日には併催セミナーとして「中小企業の事業承継をイノベーションのチャンスと捉える。地域産業の新たな未来を切り拓く、ベンチャー型事業承継とは。」を開催する。一般社団法人ベンチャー型事業承継（東京都千代田区）事務局長の山岸勇太氏が講演する。また「アトツギ甲子園」出場者が全国から大集合し、モノづくりGROWTHイベント「町工場見本市」が行われる。アトツギ甲子園に出場した後継者のほか、葛飾区内企業の後継者が参加する。

SNS活用プロモーションも支援

「ドラム缶部品の製造」、「カワイチ、テックの「高充填混練り技術」、カシカの「線出容器」、橋本精密工業の「避雷用コネクタ」、勝島製作所の「地震計測機器」と、5件の製品・技術が認定された。合計認定数は104件となった。

認定製品のストーリー漫画は冊子での配布や葛飾ブランド町工場物語のウェブサイトのほか、「Amazon」の「Kindle」で無料ダウンロードが可能だ。

葛飾区は葛飾ブランド「葛飾町工場物語」プロモーション支援を25年度から始めた。葛飾ブランド認定企業に対し、プロモーションに特化した業者が企業に伴走しながら、PR戦略立案および実践を行うことで、企業認知度の向上、販路拡大・販売促進につなげていく。

25年4月に募集し5社を選んだ。認定企業は、会社の認知度向上、YouTube、SNSの活用、新規顧客獲得、SNS運用強化など各社の狙いや課題解決のためにSNSなどを活用したプロモーション技法を身に付ける。そして自社製品などのプロモーションを自ら行えるように企業のリスキリングを実施する。個々の企業がプロモーション力を強化することにより、葛飾ブランド全体のPR力の底上げを図る。

ただ1年間の支援では、取得したデータの分析にとどまり、データに基づいた改善策まで行えない。このため葛飾区では支援を受けている企業がプロモーションを自走できるよう2年目も継続支援する予定だ。

くたくまぜるわける

葛飾区の粉体製造機器メーカーです



第12回町工場見本市
ブース番号:52

楨野産業株式会社 〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木2-11-8
TEL : 03-3691-8441 <https://www.mkn.co.jp>



めっきで世界を切り拓く
1932年創業 めっき専門技術者集団
〒124-001 東京都葛飾区東四つ木二丁目4番12号 TEL.03-3696-1981 <https://www.hikifune.com/>

inspiria

Get Ready!
近日発売

死角をなくして

4つのカメラ（前後・左右ミラーステ用）
右左折時にはモニターに自動表示を行います

全方位映像を残す

4chのカメラ映像は2k画質（最大）でのイベント保存が可能です
左右巻き込み事故を未然に防ぐことや、4方向の録画データがドライバーを守ります

MaGiK VISION

第12回町工場見本市 2026年
東京国際フォーラムにて開催される町工場見本市（2/19・20）の会場内にて実機デモ展示を行います。ご来場をお待ちしております。
株式会社インスピリア 〒125-0032 東京都葛飾区水元1-4-10 TEL:03-3826-8461

東東京マネジメント研究会入会のご案内

ビジネスチャンスを生む異業種交流・研修活動

お申し込みお問合せ先 東東京マネジメント研究会 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 日刊工業新聞社 東京支局内
TEL.03-5644-7139 FAX.03-5644-7119